

【Check - 評価】

(1) 前年度評価シートの改善内容の実施状況

平成19年度の改善予定	平成19年度の改善結果
ふれあい塾に参加するためには、一度家に帰ってから参加することになっているが、一之宮小学校において、放課後直接参加できるような取り組みを図る。	一之宮小学校で教室を使用し、放課後帰宅せず直接ふれあい塾に参加できるような試みを行った。

(2) 事務事業の評価

評価の視点	評価のポイント	評価	理由
妥当性	事務事業を実施する必要があるのか	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当である <input type="checkbox"/> どちらかと言えば妥当である <input type="checkbox"/> あまり妥当ではない	子どもの安全が叫ばれているなかで、大人達が見守りながら、異年齢の子ども達が一緒に遊んだり、学んだりする場を設けることは必要な事業である。
	町が主体となって実施する必要があるのか	<input checked="" type="checkbox"/> 町が行わなければならない <input type="checkbox"/> 町が行った方がよい <input type="checkbox"/> 町が行うべき必然性が低い	学校施設を開放し、地域の住民の協力で行っている事業であり、国の「放課後子どもプラン」に基づき、児童クラブとの連携を図ることからも、町が主体となり実施すべき事業である。
有効性	対象者の満足度や事業の達成度はどうか(成果指標の状況)	<input checked="" type="checkbox"/> 十分成果が上がっている <input type="checkbox"/> 成果は十分とはいえない <input type="checkbox"/> 成果は上がっていない	参加者や全児童の登録率の上昇から判断して、成果は上がっていると考えられる。
効率性	事業費に無駄はないか	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である <input type="checkbox"/> 適切だが改善の余地がある <input type="checkbox"/> 効率的でない	地域の住民にボランティアとしてご協力をいただき、子ども達とのふれあいのなかで、効率的な運営に努めている。

【Action - 改善】

(1) 事務事業を進めていく上での課題、解決に向けての改善内容

	課題	平成20年度	平成21年度以降
妥当性			
有効性	体験学習等の事業の実施。	世代間交流を図る。	体験学習等の事業の増加。
効率性	効率的と考えるが、ボランティアの不足はある。	広報紙等でボランティア募集をしていく。	広報紙等でボランティア募集をしていく。

(2) 事業の今後の方針(課長による評価)

活動指標の目標	<input type="checkbox"/> 高める <input checked="" type="checkbox"/> 設定どおり <input type="checkbox"/> 下げる
理由	各小学校に一カ所の開設が適切であると考えられる。
成果指標の目標	<input checked="" type="checkbox"/> 高める <input type="checkbox"/> 設定どおり <input type="checkbox"/> 下げる
理由	参加人数は、実績から判断して高める必要がある。
事務事業の方向性	<input checked="" type="checkbox"/> 方法改善 <input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 縮小・廃止・終了 <input type="checkbox"/> 統合
理由・内容	5小学校の連携を密にし、効率的な運営に努める。世代間交流事業など新たな事業展開を推進する。

部長確認	金子登喜男	確認日	2008/10/15
------	-------	-----	------------